



89号 令和7年1月7日

＜学校教育目標＞

自ら伸びる ともに伸びる

校長だより

呉市立阿賀小学校
安宗 誠



やはり 大切なのは 感謝の心！

3学期の始業式（リモート）に阿賀っ子に次のような話をしました。

已年の今年、阿賀っ子の皆さんはどんな気持ちを大切に生活したいですか？

私はやはりいつも皆さんにも伝えていますが、変わらず「感謝の心」ですね。

年始めに、たまたまテレビで、健康のために朝起きてするとよいことというのをやっていた。その中でお医者さんがいちばんに言うことが何だと思いますか？

実は、朝目覚めたときに、「感謝の気持ちをもつ」ことでした。例えば、「今日も命があってよかった。」当たり前のようなことにもしっかり立ち止まって改めて感謝の気持ちをもつ。それが健康のためにとっても大切なことなんだそうです。そうすると、「コルチゾール」というストレス物質が減少して、病気にかかりにくくなるんだそうです。

それでは、今日は、「感謝の心」を考えることにもつながりそうなお話を紙芝居で紹介します。

題名は、『どんぐりとやまねこ』（宮沢賢治作）です。

.....

どんぐりどうしが威張り合うのを鎮めるために、一郎が山猫にアドバイスした「このなかで、・・・めっちゃくちゃで、てんでなっていないような者が、いちばんえらい」という言葉。日頃から何事にも「感謝の心」をもっているからこそその一郎の言葉だとは思いませんか。

これから始まる3学期、6年生の皆さんは47日、1～5年生の皆さんは53日。「感謝の気持ち」をもち続けてしっかり過ごしてほしいという願いを込めて、最後に皆さんの前で書き初めをしてみたいと思います。

堂々とした児童代表の言葉でした。



私の書き初めの言葉は「感謝」です。

